

ジョワ・ド・ヴィーヴル — 生きる喜び

11月1日(日) 東京芸術劇場 コンサートホール

[第1部] 祈り 15:00 開演(14:00 ロビー開場)

アーティストック・ディレクター 鈴木優人 Masato Suzuki

[第2部] 希望と愛 17:30 開演(17:00 ロビー開場)

東京芸術劇場が開館25周年を記念してお届けする“生きる喜び — ジョワ・ド・ヴィーヴル —”。音楽と愛と冒険に満ちた一日!

[第1部] 祈り

中世から現代まで700年にわたる祈りの旅

世界でもトップクラスのパロック合唱団バッハ・コレギウム・ジャパン、国際的に注目されている気鋭のオルガン奏者 石丸由佳、国内外で意欲的な活動を展開するダンサー小尻健太が荘厳な祈りの世界へいざないます。

指揮、ポジティブ・オルガン：鈴木優人 パイプオルガン：石丸由佳 ダンス：小尻健太
合唱：バッハ・コレギウム・ジャパン

指揮／ポジティブ・オルガン：鈴木優人



パイプオルガン：石丸由佳



ダンス：小尻健太



合唱：バッハ・コレギウム・ジャパン

歴史を振り返ると、人々の生活には必ず「祈り」があり、「祈り」の傍らには必ず音楽がありました。700年にわたる音楽の歴史の旅しながら、音楽の中に人間が込めてきた思いをたどります。

鈴木優人／《アポカリプシス II》(抜粋) [合唱：バッハ・コレギウム・ジャパン]
アポカリプシスとは、「黙示録」を意味するギリシャ語。“ジョワ・ド・ヴィーヴル”の幕を開くアーティストック・ディレクター鈴木優人の作品です。N.de.グリーニ／讃歌《来たれ、創り主なる聖霊よ(ヴェニ・クレアトル)》より〈テノール声部の定旋律による5声のブラン・ジュ〉 [パイプオルガン：石丸]
フランスのパロック音楽史の中でひととき輝く天才作曲家グリーニの作品で、芸劇のパイプオルガンが鳴り響きます。

鈴木優人／即興演奏 [ポジティブ・オルガン：鈴木]

G.de.マシヨー／モテウス《よき羊飼ひ》 [合唱：バッハ・コレギウム・ジャパン]
J.S.バッハよりも400年も前の作曲家マシヨー、その音楽手法は現代作曲家ケージやメシアンでも多用されています。G.S.リゲティ／《オルガンのための二つの習作》より「クレ」 [パイプオルガン：石丸]
オルガンはモダン面へ回転、20世紀の作曲家リゲティの音楽からパイプオルガンの限界を越えるようなエネルギーがほとばしります。A.ペルト／《主よ平和を与えたまえ》 [合唱：バッハ・コレギウム・ジャパン]
「ほとんど動きがないのに、どうしようもなくその世界観に連れ去られる」とNYタイムズが評した名曲。BCJがA.ペルトに初挑戦。

鈴木優人／即興演奏 [ポジティブ・オルガン：鈴木]

J.S.バッハ／モテット《私はあなたを離しません》BWV Anh.159 [合唱：バッハ・コレギウム・ジャパン・ポジティブ・オルガン：鈴木]
BCJが本領を発揮するバッハのモテット。2つの合唱隊が歌い進むにつれて一体感を増し、フーガでは完全にユニゾンになるグラデーションは見事。J.アラン／《連祷》 [パイプオルガン：石丸]
「連祷」とは、礼拝における祈りの形。平和は「あるもの」ではなく「作り続けるもの」だ、ということを感じさせられる力強さに満ちています。W.A.モーツァルト／《アヴェ・ヴェルム・コルプス》KV618 [合唱：バッハ・コレギウム・ジャパン・パイプオルガン：石丸]
たった3分ほどの長さですが、それでいて最も影響力のあるモーツァルトの作品の一つ。パイプオルガンとBCJの合唱が一体となり、会場を包みこみます。

鈴木優人／即興演奏 [ポジティブ・オルガン：鈴木]

J.P.スウェーリンク／《涙のパヴァーヌ》SwWV328 [パイプオルガン：石丸]
知られざる東京芸術劇場の宝物「ルネサンス・オルガン」による演奏。メランコリーの色合いを駆使した、情緒的で繊細なメランコリー。D.ラング／《愛は強いから》 [合唱：バッハ・コレギウム・ジャパン]
愛は「死のように」強い。官能的に男女の関係を歌いあげた「雅歌」の比喻が想像力をかきたて「真実」を浮かび上がらせる壮大な作品。J.S.バッハ／《我ら苦難の極みにあるときも》BWV641 [パイプオルガン：石丸]
東日本大震災の年、テーマとして鈴木優人が何度も弾き続けた静かなコラール。これからどのような困難がやってきてもあの時の「祈り」を忘れないために。

[第1部] 全席指定 ¥4,000

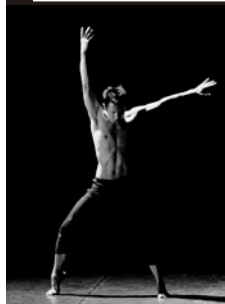
本公演にご来場の方に“特製チケットフォルダー”を
もれなくプレゼント!東京芸術劇場の3種類のパイプオルガンを、曲によって使い分けて演奏します。
世界最大級のパイプオルガンの魅力を存分にお楽しみください!

グリーニとバッハはパロック・オルガン、スウェーリンクはルネサンス・オルガンを使用



リゲティとアランではモダン・オルガンに回転!

出演者からのメッセージ

この公演では、16世紀から現代までの、4か国の作曲家の作品を一気にお聴きいただきます。2つの顔を持ち、3時代(ルネサンス、パロック、モダン)を網羅する芸劇のオルガンでこそ可能な幅広いレパートリーです。皆様と厳かな「祈り」の時間を共有できれば幸いです。
(パイプオルガン：石丸由佳)「祈り」の真意を音楽の響きとダンスで表現し、お客様に“生きる喜び”をお伝えしたいと思っています。
(ダンス：小尻健太)

ジョワ・ド・ヴィーヴル — 生きる喜び

11月1日(日) 東京芸術劇場 コンサートホール

[第1部] 祈り 15:00 開演(14:00 ロビー開場)

アーティスト・ディレクター 鈴木優人 Masato Suzuki

[第2部] 希望と愛 17:30 開演(17:00 ロビー開場)

東京芸術劇場が開館25周年を記念してお届けする“生きる喜び — ジョワ・ド・ヴィーヴル —”。音楽と愛と冒険に満ちた一日!

[第2部] 希望と愛

エネルギーと祝祭に溢れた大迫力のライブ

指揮: 鈴木 優人 ピアノ: 児玉桃 オンド・マルトノ: 原田節
吹奏楽: 芸劇ウインド・オーケストラ 管弦楽: 東京交響楽団

指揮: 鈴木 優人



ピアノ: 児玉 桃



オンド・マルトノ: 原田 節



吹奏楽: 芸劇ウインド・オーケストラ



管弦楽: 東京交響楽団

小出稚子
ウィンド・アンサンブルのための
《玉虫ノスタルジア》
(バリトンサクソフォン版 世界初演)

[吹奏楽: 芸劇ウインド・オーケストラ]

「希望」をテーマに鈴木優人が選んだのは、ジャンルを超えて活躍する新世代の作曲家小出稚子。古来より日本で珍重され装飾品にも用いられてきた美しい玉虫の輝きが、透明感のある音響や瑞々しいリズムなどによって見事に描き出されている。

この作品は、一宮北中学校吹奏楽部(兵庫県)のために書いたものです。見る角度や光の具合によって移り変わる玉虫色のように、様々なモチーフが目まぐるしく押し寄せてきます。エンジンがかりはじめたらあつという間に展開して終わってしまうので、目と耳をパカッと開いてお聴きいただければ幸いです。

作曲: 小出 稚子

I. ストラヴィンスキー(R. アールズ編曲) O. メシアン
組曲《火の鳥》(1919年版) 《トゥーランガリーラ交響曲》
吹奏楽版全曲

[吹奏楽: 芸劇ウインド・オーケストラ]

芸劇専属の吹奏楽団「芸劇ウインド・オーケストラ」のメンバーによる熱気溢れる演奏。20代の若い奏者たちの明日への希望が、「火の鳥」と共に飛翔する。

壮大なバレエ音楽「火の鳥」の名場面集を芸劇ウインド・オーケストラとの初共演でお送りします。
美しい踊り、激しいせめぎ合い、そして圧倒的なクライマックス。どこを取ってもシビれます!

指揮: 鈴木 優人

[ピアノ: 児玉桃、オンド・マルトノ: 原田節
管弦楽: 東京交響楽団]

20世紀を代表する作曲家メシアンが謳いあげた「愛」の大交響曲。巨大編成のオーケストラ、超絶技巧のピアノ独奏、電子楽器オンド・マルトノが奏でる絢爛豪華な超大作。愛と歓びの爆発に溢れる圧巻の80分間、「ジョワ・ド・ヴィーヴル」のクライマックスへ!

《トゥーランガリーラ交響曲》は、カトリック教義、鳥の歌、リズム、色彩といった音楽的要素で作曲され、現世での男女の愛を深く高く描き切った、直感的に美しいと感じられる瞬間が次々に訪れる傑作です。素敵の時空の旅をご一緒にしましょう!

オンド・マルトノ: 原田 節

アーティスト・ディレクター
鈴木優人に聞く

Q「希望」に寄せる思いを聞かせてください。——第2部「希望」は、東京芸術劇場が“若い音楽家の育成”のために昨年度始めた芸劇ウインド・オーケストラ、まさに“希望の星”が演奏します。「火の鳥」のもつ生命エネルギーを皆さまにぜひ感じていただきたいと思います。

Q“トゥーランガリーラ交響曲”を選んだのはなぜですか?——作曲家でありオルガニストでもあるメシアンを、とても尊敬しています。メシアンの到達点ともいえるこの最高傑作“トゥーランガリーラ交響曲”は、これまでの東京芸術劇場の歴史を後世に引き継ぐために象徴的な作品だと思い選曲しました。

Qお客様に一言メッセージを。——東京芸術劇場はとてもクリエイティブで柔軟な感覚をもった劇場だと、以前より思っていました。『ジョワ・ド・ヴィーヴル』も大胆で斬新なプログラムです。一見マニアックに見えますが、思い切って是非いらしてください。音楽の喜び、そして生きる喜びを必ず感じていただけたらと思います。こんなプログラムの演奏会は滅多にありません。私自身、この日は完全燃焼します!

公演情報

11月1日(日) 東京芸術劇場 コンサートホール

[第1部] 祈り 15:00 開演(14:00 ロビー開場)

[第2部] 希望と愛 17:30 開演(17:00 ロビー開場)

[第1部]全席指定 ¥4,000 [第2部]全席指定 S¥7,000 A¥6,000 B¥5,000 C¥4,000 25歳以下¥2,000

[通し券]全席指定 S¥10,000 A¥8,000 B¥7,000

本公演にご来場の方に“特製チケットフォルダー”をもなくプレゼント!

【東京芸術劇場ボックスオフィス】〈電話〉0570-010-296 (休館日を除く10:00~19:00) ※一部携帯電話、PHS、IP電話からは、ご利用いただけません。

〈窓口〉営業時間: 休館日を除く10:00~19:00 〈WEB〉http://www.geigeki.jp/t/ 最新の情報を随時掲載中! ※24時間受付(メンテナンスの時間を除く)

※通し券、25歳以下チケットは東京芸術劇場ボックスオフィスのみ取扱い(前売のみ)
※25歳以下チケットは枚数限定・チケット引換時要証明書提示
※未就学児入場不可
※都合により出演者・曲目等が変更になる可能性があります。公演中止を除き、お買い求めいただいたチケットのキャンセル、変更はできません。ご了承ください。出演者からのコメントや
公演の最新情報を掲載中!

ホームページ www.geigeki.jp

www.facebook.com/geigeki

@geigeki_info